

淑女同盟活動報告 *by blasing one*

- 1 -

淑女同盟は、私の高校の女子生徒の集まりで、男を征服し、拷問し、去勢することを目的としている。やりたいさかりの男の子たちのナンパやセクハラ。私は友人たちとともに、それらを止めさせるために、淑女同盟を結成したのだ。

私たちの最初の活動は、中学校で私たち女性を悩ませた男の子のリストを作ることだった。私たちの学校は中西部の小さな町にあり、その町の住人はほぼ例外なく同じ中学校、高校に進んだ。私たちは一夜、学校が終わってから集まり、復讐の時間が来たことを確認しあった。同盟会員の一人は学校の事務局に勤務する女性だったので、私たちは、男たちの住所を知ることが出来た。

最初のターゲットはダニエル。私たちは彼の家に向かった。窓からのぞくと、彼の両親はすでに寝入っており、彼はベッドに腰掛けて、片手で男性誌を持ち、片手で自分の息子を慰めていた。私たちは、彼がクライマックスに到達するまで待った。そして一人の会員が窓をノックした。彼は飛び起きると同時に射精した。窓は鍵がかかっていなかった。

私は窓をあけ、部屋のなかに入った。彼は私を見るや、顔を真っ赤にした。つづいて二人の会員が部屋に入った。彼は惚けたように立ち尽くした。二人——メリージェーンとベスが、それぞれ彼の両腕をつかみ、防御できないようにした。メリージェーンは布で彼の口を塞ぎ、助けを呼

- 2 -

べないようにした。私は、彼のブリーフに手をつっこみ、睾丸をつかんで、力をこめた。彼は体をよじったが、猿ぐつわのため叫ぶことも出来なかった。私は彼のブリーフをずりおろし、思い切り睾丸を引っ張った。彼は断末魔の苦しみに晒された。私は、彼の睾丸を引っ張ったまま、ひねり潰しはじめた。彼は滝のように涙を流した。私はゴムバンドで彼の陰囊のつけ根を縛った。メリーとベスは、彼の両手を後ろ手に縛りあげ、ベッドの柱にくくりつけた。もはや、彼は私が加え続ける残酷な拷問を逃れるすべはなかった。

彼のペニスの先から大量の血が噴き出した。彼の男性としての能力は完全に奪われた。彼が気絶したのを見て、私たちは素早く部屋を出た。

私たちは、次のターゲットの家に向かった。彼は、部屋で一人であった。彼らの両親は外に出掛けている。ラッキー！ 私たちはドアをノックした。彼が二階から降り来てドアをあけた瞬間、ベスは彼に襲いかかり、思い切り彼の睾丸を蹴り上げた。彼は床に倒れ悶絶した。私たちは素早く彼を裸にした。彼は抵抗することすら出来なかった。

私は、彼の男性能力を奪うためのいいアイデアを考えていた。私が台所でお湯をわかしている間に、ベスとメリージェーンは彼を縛りあげてリビングに転がしていた。彼はひいひい泣いていた。私は彼の陰囊を、お湯を入れた器に浸した。彼は、断末魔の叫び声をあげた。私はもう一度彼の陰囊を殴りつけた。彼は完全に抵抗する力を失った。

ベスとメリーが、彼を窓のところに連れてゆき、半分開いた窓の枠に陰囊を置いた。私は、思い切り窓をしめた。陰囊が窓と窓枠に挟まれた。私は力をこめて窓を押さえつけ、彼が悲鳴をあげ、慈悲を乞うのを楽しんだ。しばらくして彼は気絶した。私は、彼の睾丸が窓に挟まれたまま放置して家を出た。

淑女同盟は結成されたばかり。私たちの活動は、我が校の全ての男子生徒が、二度と勃起しなくなるまで続く。